INTERVIEW

1人で判断せず、誰かに相談してください

「やっぱりか」「怪しいと思っていた」と特殊詐欺の被害に遭われた方の多くは言います。これは“1人”で動いた結果です。

特殊詐欺の手口は“儲け話”や“家族のトラブル”などを持ちかけます。犯人はその手口を年々複雑かつ巧妙化させ、時には社会情勢に合わせた切り口で話をしてきたり、実在する事業者の名を使います。『今すぐに』『大事になりますよ』と言って急かし、混乱させ、私たちに迫ってきます。

その時、1人でこの話が本当かどうかを判断するのはとても難しいことです。

まずは、電話を切る。そして、“誰か”に相談してください。私たち警察官はもちろん、家族や友人、お隣の人などにこの話をしてください。相談することで少し冷静になることができ、相談した人の助言で詐欺被害を防止できます。

加東警察署 刑事生活安全課長　万代昌樹（まんだいまさき）さん

INTERVIEW

「ひょっとして…」と思ったらお声かけします

電子マネーカードを購入しに来られた方で 金額が高額な方や、従業員が“ひょっとして…”と思った方などには、年齢問わずお声かけするようにしています。

以前、スマホの画面を見せながら電子マネーカードを購入されようとしていた高齢の方が居られましたが、“ひょっとして…”が働き、詳しく内容を聞くと、明らかに怪しいことが分かり、警察に繋げ、特殊詐欺被害を防ぐことが出来ました。

自分が思っている以上に身近に存在する“特殊詐欺”。

加東市にある1つのお店として、特殊詐欺という犯罪の手から地域の方やお店に来られる方を守るために、少しでも怪しいなと思ったらお声かけしていければと思います。

セブン-イレブン 社松尾店 オーナー　野口良三（のぐちりょうぞう）さん

特殊詐欺の対策をする

被害者の81%が65歳以上の方

特殊詐欺の多くは「電話」によるものです。そのため、見覚えのない番号や非通知の着信など、不審な電話には出ないように対策することが非常に有効です。

自動通話録音機の設置

固定電話に自動通話録音機を設置すると、着信があった際に録音する旨の自動アナウンスが流れるため、不審電話を撃退することが可能になります。

加東市防災課では、65歳以上の方(65歳以上の方と同世帯の方を含む)に対して、特殊詐欺被害対策機能付き電話機等購入・設置費用の一部を補助しています。

詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎43-0430

最大10,000円分補助！

常時留守番電話に設定

常に留守番電話の設定をしておくと、留守番電話のメッセージを確認してから折り返し電話することができるため、安心です。

兵庫県警察のホームページで、不審電話を撃退する留守番電話用のメッセージがダウンロードできます。これを録音して留守番電話に登録することで効果が期待できますので、ぜひご活用ください。

電話番号通知サービスの利用

このサービスを利用すると、固定電話の画面に掛かってきた電話の番号が表示されるため、誰からの着信なのかを判断することができます。また、非通知の着信の場合、その旨が表示されるため、安心です。

番号通知サービスは、民間事業者のサービスのため、お使いの電話回線や電話機の種類によって使用の可否が変わります。詳しくは、今お使いの電話会社にお問い合わせください。

私たち警察官も、**相談相手の1人**です。

「怪しいな」「おかしいな」と思われたときは、お気軽に通報してください。

問 加東警察署(刑事生活安全課)　☎42-0110